

## 第95回 理事会 議事録

1. 日 時 令和6年11月5日(火) 12時25分～13時30分
2. 場 所 アルカディア市ヶ谷
3. 出席者
- |       |       |        |  |
|-------|-------|--------|--|
| 会 長   | 楠 文代  |        |  |
| 副 会 長 | 中村 明弘 | 濱岡 純治  |  |
| 常務理事  | 渡部 一宏 | 亀井 美和子 |  |
|       | 越前 宏俊 | 赤路 健一  |  |
|       | 市川 秀喜 |        |  |
| 理 事   | 吉村 祐一 | 杉林 堅次  |  |
|       | 宮崎 智  | 木村 文輝  |  |
|       | 神野 透人 | 北川 裕之  |  |
|       | 新井 英夫 | 松末 公彦  |  |
| 監 事   | 富田 基郎 | 市川 厚   |  |
| 顧 問   | 井上 圭三 |        |  |
| 参 与   | 乾 賢一  | 本間 浩   |  |

〔 理事現在数 17名  
出席理事数 16名 〕

#### 4. 議事の経過の要領及びその結果

定款の規定に基づき楠会長が議長に就任し、理事現在数17名に対し、本日の出席理事は16名となり、定款に定める定足数を満たしており、本理事会が有効に成立していることが宣言された。

また、議事録署名人として出席理事から、松末公彦理事を指名し、事務報告の後、議案の審議に入った。

##### (1) 前回議事録の確認について

前回議事録(第94回理事会:令和6年9月24日開催)について、全会一致でこれを承認した。

##### (2) 令和7年度事業計画(案)について

小池事務局長から「資料3」に基づき、「令和7年度事業計画(案)」について説明があり、協議の結果、全会一致でこれを承認し、11月26日開催の第2回通常総会に諮ることとした。

### (3) 令和7年度収支予算(案)について

小池事務局長から「資料4」に基づき、「令和7年度収支予算書(案)」について説明があり、協議の結果、全会一致でこれを承認し、11月26日開催の第2回通常総会に諮ることとした。

### (4) 令和6年度教育賞受賞者の選考について

楠会長(教育賞受賞者選考委員会委員長)から、「資料5」に基づき、以下の説明があった。

本年度の教育賞受賞候補者は、協会の各種専門委員会からの推薦が3名あり、大学からの推薦はなかった。

本日午前中に開催した同選考委員会において選考・審査が行われ、各種専門委員会から推薦があった3名については、広く薬学教育の発展に寄与するとともに、薬学教育の普及・啓発活動等に顕著な業績が見られることから、候補者として決定した。

これを受けて本理事会で協議を行った結果、これを承認し、11月26日開催の第2回通常総会に諮ることとなった。

(「臨床実習検討委員会」による推薦) 1名

中村 智徳(慶應義塾大学薬学部 教授)

(「6年制課程検討委員会」による推薦) 2名

岡村 昇(武庫川女子大学薬学部 教授)

田村 豊(福山大学薬学部 教授)

### (5) 広報誌「6年制薬学ガイド2026」の刊行について

亀井常務理事(広報誌編集委員会委員長)から、以下の説明があった。

今回刊行する「6年制薬学ガイド2026」については、「高校生に分かりやすく、関心を持ってもらえるような内容とする」という方針の下、現時点で検討している編集内容について報告があった。

具体的には、「資料6」台割表にあるとおり、ページ数をできる限り少なくし、文字数にこだわらず、むしろ学生に関心の高い事柄についてQRコードを活用し、スマホで読み取ると共に、詳細情報が見られるなど、学生自らがアクセスでき、見せ方を変える方法を採用。

また、動画を増やすことについては、予算的な制約もあることから、QRコードからweb上の情報にアクセス可能とするなど、工夫を行いたい。

## (6) 薬学教育協議会について

本間参与（薬学教育協議会代表理事）から、「資料7」に基づき、第51回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会等について、以下の報告があった。

- ① 2024(R6)年度 第1,2期実務実習報告及び良い事例の報告
- ② 2026(R8)年度 実務実習実施日程
- ③ 2023(R5)年度 実務実習実施結果、2024(R6)年度 在籍者数調査結果
- ④ 実務実習指導薬剤師の認定業務についての現状報告
- ⑤ 実務実習 WEB システムの改訂に関する報告
- ⑥ 実務実習ガイドライン改訂ワーキンググループの報告
  - ・ 8週間程度の追加の実習について議論をしており、ワーキンググループ等でまとめたことを実務実習検討委員会で決めた上、来年2月開催の「新6者懇」等で議論し公表する予定。
  - ・ 追加の実習については、ガイドラインに記されているとおり、選択である旨確認をした。
  - ・ 6年生薬学卒業生の75%は薬剤師、残り25%(国試の浪人生含む)は薬剤師以外となる傾向にある。企業や官庁等の薬剤師以外のキャリアパスがあることを考えると、医療機関以外の実習を考える必要があるという意味で選択となっている。
  - ・ 期間及び時期については、議論をしているところ。
  - ・ 実務実習に加え医療現場での実習も1つのコース、また、実務実習を終えた人が企業で学ぶことも1つのコースであり、PMDAでの研修等も考えられ、追加実習をコース別に用意する方向で話が進んでいる。

## (7) その他

- ① 第10回日本薬学教育学会大会の後援名義申請について  
亀井常務理事（同大会会長）から、「資料8の①」に基づき、説明があり、審議の結果、全会一致でこれを承認した。
- ② 第9回日本薬学教育学会大会の報告について  
乾参与（同学会理事長）から、「資料8の②」に基づき、報告があった。
- ③ 第12回アジア薬科大学協会(AASP)カンファレンス2025の後援名義申請について  
乾参与（同大会実行委員長）から、「資料9」に基づき、説明があり、審議の結果、全会一致でこれを承認した。

5. その他

薬学教育評価機構から、「2024年度の第三者評価事業について」(参考資料)の配布があった。

議長は、以上をもってすべての議案の審議を終了した旨発言し、13時30分閉会を宣言した。

以上の議決を明確にするため、本議事録を作成し、議長及び出席理事(指名された議事録署名人)、及び監事がこれに署名捺印する。

令和6年11月19日

一般社団法人 日本私立薬科大学協会

議長 楠 文代  
(押印済)

出席理事 松 末 公彦  
(議事録署名人) (押印済)

出席監事 富 田 基郎  
(押印済)

出席監事 市 川 厚  
(押印済)